

会 議 録

1 会議名

令和5年度第1回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

（1）令和5年度名立区の主な事業について

（2）名立の子どもを守り育む会の事業評価について

2 協議事項（公開）

（1）ろばた館利活用検討会（仮称）について

3 その他事項（公開）

3 開催日時

令和5年4月17日（月）午後6時30分から午後7時35分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：小林晴子、大門廣文、高宮秀博、竹内隆、徳田幸一、中野祐、二宮香里、畑芳雄、原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：桐木所長、本間次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、石崎地域振興班長、武内総務班長、高橋産業建設業務窓口班長、渡邊税・市民生活班長、笠原福祉班長
- ・ 農村振興課：廣田副課長、横尾係長

8 発言の内容

【石崎班長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【原田会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【石崎班長】

- ・会議録の確認者：高宮副会長、竹内委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・報告事項（1）令和5年度名立区の主な事業について、事務局に説明を求める。

【本間次長】

- ・資料No.1について説明

【原田会長】

- ・皆さんの方で、ご意見ご質問等はあるか。

【三浦委員】

- ・「風力発電施設管理事業」だが、撤去の時期はいつ頃を考えているのか。
- ・昨年から名立まつりは、うみてらす名立の芝生広場の周辺を会場としている。
- ・これから実行委員会を開催して計画を検討する予定だが、今のところ昨年と同様の内容で今のところ考えている。
- ・どの辺のエリアまで影響が及ぶのか、今の段階で分かっていることを教えていただきたい。

【桐木所長】

- ・上越市ホームページに公表されている工事発注見通しでは、工期は10月31日までとなっている。うみてらす名立の繁忙期や名立区内の行事にぶつからないように

調整しながら、工事発注させていただくことになる。

【三浦委員】

- ・5月の連休明けに名立まつり実行委員会を開催しようと考えている。総合事務所の方にも案内させていただくため、その段階で新たに情報があれば知らせてほしい。

【原田会長】

- ・他にあるか。

【徳田委員】

- ・同じく「風力発電施設管理事業」について、撤去と記載してあるが、タワーを含めまっさらにするということか。

【桐木所長】

- ・その予定だ。躯体そのものは取り壊しになる。

【原田会長】

- ・他に何かあるか。

【二宮委員】

- ・「中学校市単独事業」について、給食室蛍光灯設置工事とあるが、LEDではないのか。

【沢田グループ長】

- ・LEDと理解してもらってよい。

【原田会長】

- ・他にご意見ご質問等はあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・報告事項（2）名立の子どもを守り育む会の事業評価について、事務局に説明を求める。

【沢田グループ長】

- ・資料No.2について説明

【原田会長】

- ・名立の子どもを守り育む会の評価委員である小林委員、二宮委員、畑委員から何か

あるか。

【該当委員】

- ・特になし。

【原田会長】

- ・私も何度か評価委員をさせてもらったが、子どもたちのことを考え、活動されていると思う。今年もよろしくお願ひしたい。
- ・協議事項に入る。協議事項（1）ろばた館利活用検討会（仮称）について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料No.3 について説明

【原田会長】

- ・地域協議会は実施団体にはなれないので、地域協議会が実行することができない部分を、地域の団体の皆さんと一緒に考えられたら良いと思い、このような形になった。
- ・とりあえずの声掛けする構成団体は（案）として出させていただいた。
- ・今年度は、ろばた館に地理的に近い団体や、今現在ろばた館を利活用されている団体を中心に、少人数で開始したい。
- ・年に何回とは決まってないが、検討すべき事項や実施できるような項目が出てくれば、そこに関連する団体にもお声掛けさせていただくつもりだ。
- ・参考資料は、ろばた館・上名立分館の活用状況について一覧にさせていただいた。
このほか、今年はそばまつりも予定されているとのことだ。
- ・第1回の開催は5月連休明けくらいを考えている。
- ・皆さんの方でご意見ご質問等はあるか。

【三浦委員】

- ・地域協議会の位置付けが市との連絡調整役となっているが、地域協議会は構成団体の中に入っているのか。

【原田会長】

- ・そうである。

【三浦委員】

- ・地域協議会のスタンスとすれば、調整役という緩やかな立場ではないと思う。
- ・ろばた館の利活用について、自由な発想で自由な意見が出てきたときに、何らかの形で調整することは出てくるかもしれないが、ろばた館利活用検討会（仮称）の中で地域協議会が構成団体となっているのであれば、連絡調整役とするのは違うと思う。

【原田会長】

- ・ごもつともだと思う。
- ・ただ、私たちはろばた館について意見書を出し、回答をいただいているので、何らかの形で市との緩衝剤になるべきではないかとも思う。
- ・他にご意見はあるか。

【二宮委員】

- ・資料No.3で、市の役割として独自予算要求と記載されているがどういうことか。

【石崎班長】

- ・例えば、検討会での検討の結果、ろばた館でイベントを開催したいとなった場合、そこにかかる費用が地域独自の予算に該当するものであれば、総合事務所で地域独自の予算として予算要求を行っていくということを想定している。
- ・また、地域独自の予算は、総合事務所から提案することも可能なので、必要に応じて総合事務所からの提案、予算要求もありうるということで記載させてもらっている。

【原田会長】

- ・私たちが地域独自の予算を活用した事業やその実施団体をサポートすれば、その団体と直接お話もできるし、地域協議会からの提案もできる。
- ・我々は直接実行する組織ではないため、実施いただける団体をお願いしたり、市に予算計上してもらう形になる。

【三浦委員】

- ・構成団体を絞り、少人数で行うことで意見が出やすいというメリットがあるかもしれないが、逆に言うと広く意見を拾えない。
- ・会議の進行の過程で構成団体を追加する可能性もあるという話だが、私はとにかく広く意見を聞く方がよいと思う。

- ・このような構成団体で絞り込んだ方が運営しやすいようであれば、それも一つの方法かもしれないが、令和3年にろばた館のアンケートを取ったときにいろいろな活用策の意見があったので、その声も拾っていくことが必要ではないか。

【原田会長】

- ・アンケートからの意見の拾い上げ、集まっていたく団体の範囲を狭くせず、広く意見を聞く方がよいというご意見は、きちんと受け止めたいと思う。
- ・検討会の開催日はまだ未定だが、次回の地域協議会を行う前に開催できないかと考えている。

【三浦委員】

- ・ろばた館利活用検討会（仮称）の主催はどこか。

【原田会長】

- ・私たちが議論してきた中で立ち上げる会のため、最初は地域協議会主体としたい。
- ・検討の過程で、検討会が実行する団体となりつつあるようであれば、そこはまた考えなければならない。

【三浦委員】

- ・市はオブザーバーという位置付けになっているが、オブザーバーという具体的な意味合いを教えてほしい。
- ・また、市は地域で考えてほしい、地域と一緒に考えたいという話だが、市から具体的な提案や利活用策について、何らかの形で示してもらえると考えてよいか。
- ・市がどういう形で地域の活性化に向けて考えているのか、そこは大きな意味合いを持つと思う。
- ・ろばた館の利活用だけでなく、地域の活性化に繋がるものであり、総合事務所がより明確で具体的な方針や方向、取組を示すべきではないか。
- ・地域と市、双方が動いていかないといけないと思う。

【原田会長】

- ・今までは行政に頼る部分が多かったが、ろばた館利活用検討会（仮称）によって、自分たちにもできることがあるのではないかという方向になってくれればよいと私は考えている。
- ・そこから地域の動きが出せれば、改めて市と話ができるのではないかと考えている。

- ・最初から市に対して具体策を求めるよりは、私たちがまず動く方がよいのではないかと思い、提案させてもらっている。
- ・流れの中で、私たちの動きや考えが出てくれば、市の考えを聞くということも出てくると思う。
- ・2年後にろばた館の温浴と食堂機能がなくなるということだけを言うのではなく、ここで暮らしている私たちが何か考えて行動を起こせたらよい。
- ・他にご意見等はあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・ろばた館利活用検討会（仮称）は委員の皆さんにもお集りいただき、意見交換していただければと考えている。
- ・具体的な開催文書を出す前に、委員の皆さんには見ていただきたいと思う。

【三浦委員】

- ・地域協議会委員全員が出席するということが。

【原田会長】

- ・強制ではないが、できれば参加していただきたい。

【三浦委員】

- ・他の構成団体はどうなのか。

【原田会長】

- ・各団体1名ずつ参加していただく予定だ。

【三浦委員】

- ・小人数で意見を出しやすくするという話だったが、地域協議会委員全員が参加すれば小人数ではなくなり、矛盾が生じる。

【原田会長】

- ・私はできる限り、委員の皆さんにも出席していただきたいと考えている。
- ・各団体からの出席者と人数的にアンバランスにならないように、私から出席いただく委員にお声がけさせていただく形になるかもしれないが、ご了解いただきたい。
- ・日程、日時、団体については事務局と協議の上で、きちんとした形で皆さんにお示

し、その上で出席をとりたい。

- ・その他事項に入る。皆さんの方で何かあるか。

【三浦委員】

- ・資料とともに他区の「地域活性化の方向性」が同封されていたが、なぜ3区だけなのか。

【石崎班長】

- ・地域活性化の方向性が決定したところから地域協議会委員の皆さんに周知させてもらっている。先に決定した4区については、昨年度中に送らせてもらっている。

【原田会長】

- ・昨年度、地域独自の予算と並行して9月までに各地域協議会で作りなさいということで向かったと思うのだが、まだできていないところがあるのかというのが委員の発言の趣旨だと思う。

【三浦委員】

- ・第7次総合計画の策定委員として、総合計画に地域ごとの方向性というものは明示できないのかと意見したが、掲載されることはなかった。
- ・そんな中、今回、地域で地域活性化の方向性を作ったとすれば、総合計画の中に位置付けて有効に活用することこそ、我々地域協議会が地域の将来を検討した証になると思う。
- ・ぜひこの話は総合計画の担当課につなげてほしい。

【桐木所長】

- ・地域活性化の方向性は、あくまで地域協議会に作成をお願いするというものであった。このことから、全ての地域協議会がすぐさま作成することを了承したわけではなく、中にはなぜ地域協議会が作らなければならないのかというところもあったと聞いている。
- ・やっと各地域協議会で作成する方向で動いているところだが、ご承知のとおり、作っていないところも多くある。

【原田会長】

- ・先般の市議会の中で、地域協議会の役割は地域の自主的審議事項、市長の諮問事項に対する答申であるという答弁があった。

- ・自主的審議事項をきちんと考えることが地域づくりにつながり、地域独自の予算にも絡んでいくような形を令和5年度は目指していきたい。
- ・皆さんの意見をもらわなければ動いていけない。皆さんの思いをここでいただければ、地域協議会がより良い形になると思っている。
- ・他にあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・事務局は何かあるか。

【石崎班長】

- ・特になし

【原田会長】

- ・今後の地域協議会の開催予定について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・令和5年度第2回地域協議会の日時：令和5年5月30日（火）

【高宮副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 5504）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。